

県高P連広報

発行所
新潟県高等学校
PTA連合会
新潟市中央区新光町10-3
技術士センタービルII-701
TEL (025) 384-8244
FAX (025) 384-8288
印刷所
株小林印刷所

ご挨拶



新潟県高等学校PTA連合会会長
一般社団法人 新潟県高等学校
PTA安全互助会 理事長 古川 憲

(新潟中央高等学校PTA会長)

この度、令和六年度新潟県高等学校PTA連合会会長を務めさせていただくことになりました古川憲と申します。どうぞよろしくお願いたします。また、会員の皆さまにおかれましては、日頃より各単位PTA活動に対するご理解とご協力を賜り、心から敬意と感謝を申し上げます。

昨今、社会は急速に変化しています。ポストコロナ、ウィズコロナ時代において、私たちの生活や働き方、そして教育環境は大きく変わりつつあります。特にデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展により、教育現場でもICTの活用が進み、子どもたちの学びの場が広がっています。このような時代背景の中で、PTAの役割はますます重要になっていくと感じております。

去る七月五日から六日にかけて長野県で開催された北信越地区高等学校PTA連合会研究大会長野大会に参加いたしました。本大会では、各地域代表校によるPTA活動の発表を聞く機会を得ました。学校毎の独自の取り組み、PTA、学校、地域が一体となって活動する姿勢に感銘を受けました。

さらに、記念講演ではオリンピック日本女子スピードスケート史上初の金メダリストである小平奈緒さんのお話を伺う機会にも恵まれました。テーマは「知るを愉しむ」であり、「愉しむ」という言葉には「心を運ぶ」という深い意味が込められていました。小平さんは、心が動いていれば苦しい状況でも愉しむことができると語り、十年先を見据えて工夫し創造することの重要性を教えてくださいました。与えられるものは有限である一方、求めるものは無限であり、その中で可能性を追求することの大切さを強調されました。私も一人の親として、この講演から学んだことを、今後のPTA活動や家庭での子どもとの関わりに生かしていきたいと考えております。子どもたちの未来を見据え、より良い環境を提供するために、私たち大人がどのように関わって、サポートしていくかが問われています。

結びに、今後も引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。共に手を携えて、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

信頼できる仲間とともに

巻高校新聞部

保護者 野島 聡

一年生の春、「新聞部に入ることにしたから。」この一言に、当初私はとても驚きました。作文能力が決して人より優れているとは言えなかった我が子が、自らの意思で新聞部に入部するとは思っていませんでした。

しかし、その不安は無用なものでした。新聞部には、「良き先生や先輩、仲間」がいたからです。新聞部全員で作成した『巻高新聞』は、いつの間にか私も発行を待ちわびるほど完成度が高く、素晴らしいものでした。課題であった作文能力も徐々に上達し、私が目を疑うほど立派な記事に仕上がっていました。そんな新聞部全体が協力し、一体となって活動した成果が、全国高等学校総

感謝の想いをかたちに

新発田商業女子バレーボール部

保護者 伊藤 奈美

新発田商業女子バレーボール部は現在二年生九名、一年生八名で活動をしています。二年生が入学した時に先輩は五名のみ。五名の先輩方は部員が足りない状況に加え、コロナ禍もあり、バレーボールを一生懸命したくて新発田商業に入部したにもかかわらず思ったような活動ができず辛い思いをされていました。バレーボール部の存続危機を乗り越えてくれた先輩の分も頑張りたいと優勝を目指し挑んだ県総体では十三年振りに優勝することが出来ました。

県総体優勝、インターハイ出場を卒業生の皆様、地域の皆様が大変喜んでくださ

合文化祭出場に

あったのだと私は考えています。

残念ながら入賞することとはできませんでしたが、全国の仲間と出会い、ともに能力を発揮して新聞部を作成できたことは、人生の貴重な経験となったはず。

自分の子供が高校三年間で成長できたのは、間違いなく、この部活に所属できたおかげだと思っています。

新聞部の先生、後輩を含めた新聞部のみなさん、本当にありがとうございます。これからも立派な『巻高新聞』を全員で作ってください。期待しています。



さり、部員や私達保護者は沢山の元気と勇気をいただきました。そして、クラウドファンディングで私達のプロジェクトに賛同いただいた多くの方々にも、多くのご支援を頂戴致しました。この場をお借りして感謝申し上げます。

『応援されるチーム』をこれからも目標にし、また全国の舞台に出場できるよう、皆様への感謝の想いを忘れずに、全力のプレーで頑張りたいと思っています。



新潟県高等学校PTA連合会 総会報告

新潟工業高校PTA会長 井上 沙織

今年度の高P連総会と研究協議会は、去る五月三十一日（金）ホテルイタリア軒にて開催されました。また、同会場にて、（一社）新潟県高等学校PTA安全互助会社員総会も行われ、いずれも昨年度の事業報告及び決算報告、役員改選、そして今年度の事業計画及び予算が審議されました。

二つの総会の後、研究協議会として、県高P連内の各種委員会報告があり、その後四校のPTAより提案発表がありました。

第一発表は三条商業高校で「三条商業高校の取組」、第二発表は直江津中等教育学校で「教育活動を支えるPTA」、第三発表は吉田高校で「吉田高等学校のPTA活動」できることを無理なく楽しむ」、第四発表は新潟商業高校で「新潟商業高校のPTA活動」でした。各校



とも歴史や伝統、地域の特徴を活かしたPTA活動を行っている様子がうかがえました。また、時代とともに変わるPTA活動の課題にも果敢に立ち向かっている

様子もうかがえ、本校での今後のPTA活動の参考になりました。

続いて「ベップトーク」やる気を引き出す言葉の力」と題して、日本ベップトーク普及協会コンテンツ開発部長の堀寿次様よりご講演をいただきました。ベップトークはもととアメリカでスポーツの試合前に監督などが選手を励ますために行っている短い激励のスピーチです。このスピーチには「相手の状況を受け止める」「転換した考え方を示す」「やることを示す」「背中を押す言葉がけをする」といった四つのステップがあり、短く分かりやすく話すことがコツだそうです。WBC決勝戦前の大谷翔平選手が味方選手に言った「今日だけは彼らへの憧れを捨てて」という有名なセリフを例にあげて、とても分かりやすく効果を説明していただきました。また、逆に残念な励まし方の例をお聞きして、子供に対する言葉がけの重要性を改めて実感し日々の自分の行いを反省しました。終わりに三三七のベップトーク」できる、必ずできる」で自分自身を励ますやり方を教わり、堀様から元気をいただいた講演会となりました。



県高P連総会 提案発表

第一発表

三条商業高等学校 PTA活動の取組

三条商業高等学校 PTA会長 小野沢伸二

本校は本年度創立百十四年目を迎えた伝統校です。現在は総合ビジネス科十クラスの生徒が学んでいます。

「地域と連携しながら、地域社会の発展に貢献できるビジネスリーダーを育成する学校」をスクール・ミッションとし、商業の専門性を高めながら国際理解教育やキャリア教育をととして地域やグローバルに活躍できる人材、円滑な人間関係を構築しながら主体的に協働できる人材を育成する教育活動を実践しています。

PTAは地区制を採用し、在籍生徒人数に応じて評議員を選出します。三役を中心に生活指導部、広報部、教養部、研修部が様々な取組を進めています。

生活指導部は体育祭でグラウンド内外の巡視により行事運営の支援を行いました。文化祭でも巡視を実施する予定です。

広報部は年2回発行のPTA会報誌「礎」の発行に携わっています。また、教養部・研修部が中心となって各種講演会やSNS教育プログラム等の公開授業に参加して、子どもたちの感覚に寄り添えるように情報収集をしています。

今後も引き続き、学校の教育活動を支えながら、地域連携活動への参加や国際理解教育への支援等とおして、生徒の

ためのより良い学校づくりを微力ながら支援して参りたいと思います。

第二発表

教育活動を支えるPTA

直江津中等教育学校 PTA会長 木下 和紀

本校は平成十九年に県内5番目の県立中高一貫校として開校しました。主なPTAの活動は、学年PTAと専門委員会です。

学年PTAは、各学級から役員が二名ずつ選出され、学年部職員と連携しながら年二回の進路講演会や職業講話等の講演会の企画・運営を行います。また、海外研修等、各学年の宿泊研修行事のプロポーザルにも参加をしています。

専門委員会は、広報委員会、環境委員会、文教委員会からなり、各学年一名ずつ役員を選出し様々な活動を展開しています。広報委員会は、PTA広報誌「葦」を年二回発行しています。環境委員会は、毎年六月に環境整備作業を計画・運営します。毎年百名を超す保護者の参加を得て、生徒と共に活動を行っています。文教委員会は、文化祭でバザーを運営しています。

これまで紹介した役員は、全保護者に希望調査を行い選出しています。「できる人が、できる時に、できる形で」…この考え方が、本PTA組織が学校の教育活動を支える源になっています。

コロナ禍が明け、以前の教育活動が復活してきました。今だからこそ、易と不易を学校職員と相談しながら、PTAのできる支援の形を模索し学校を支えていきたいと考えています。

北信越PTA連合会研究大会 長野大会報告

新潟南高等学校PTA会長 櫛谷 努

七月五日(金)・六日(土)の2日間、標題の大会が、長野市のホクト文化ホールを会場に、約九百人が参加される中、盛大に開催されました。

往復、新潟県高P連事務局が企画されたバスツアーを私も利用し、快適な道中となりました。当日の長野市日中の最高気温が三十五度と予報されていたとおり、到着してバスを降りると、暑い日差しが待っていました。

研究主題「歴史の町で未来を描く」新たな時代をどう生きるか」のもと、開会しました。次第に先立ち、元旦に発生した能登半島地震で犠牲になられた方に黙祷を捧げ、ご冥福を祈りました。北信越地区高P連会長、全国高P連副会長からの挨拶においても、震災からの一日も早い復興への願いが語られました。表彰状贈呈では新潟県高P連榎谷前会長を始め各県役員の皆様が表彰状



を受け取られました。

歓迎アトラクションでは、長野西高等学校バトン班によるパフォーマンスが披露され、全国大会入賞の、鍛え抜かれた統一感ある動きや隊形の変化で、観客を魅了しました。

続く実践発表では、福井県立藤島高等学校、石川県立金沢二水高等学校、富山県立富山工業高等学校、当県の県立三条商業高等学校そして長野県諏訪清陵高等学校・附属中学校、計五校の会長より、各校のPTA活動について個性豊かな発表をいただきました。

地酒の並ぶ和やかな懇談会から一夜明け、二日目は、長野県出身で、オリンピック日本女子スピードスケート史上初の金メダリストである小平奈緒さんが、「知るを愉しむ」を演題に記念講演をされました。選手時代、どのような思いで競技に臨まれていたか、父母にどのように支えられたかなどについてお話してくださいました。閉会式では、大会宣言のあと、次年度開催となる福井県から挨拶をいただき、全日程を終了しました。



11月1日は「新潟県教育の日」

第三発表

吉田高校のPTA活動

～できることを無理なく楽しむ～

吉田高等学校校

PTA会長 高橋 妙子

本校は学年二学級の小規模校ですが、燕市と弥彦村、地元産業界が中心となり設立された吉田高校サポート協議会をはじめ、様々な場面で多くの支援をいただいております。地元の期待の大きい学校です。PTA組織は会長団の下、登校巡視活動を行う「環境専門部」、ロードレース大会の補助を行う「スポーツ専門部」、文化祭で募金活動を行う「教養専門部」の3つに分かれ、それぞれの役割を果たしています。

中でも、教養専門部が行っている盲導犬育成募金は本校の特色ある活動の一つです。盲導犬に関する知識や理解を深めるとともに、ユーザーの方々が安心・安全に生活できるようにと願い北海道盲導犬協会と連携し、平成二十八年度から文化祭で募金活動をしています。令和三年度には、これまでの活動に対して感謝状をいただきました。今年度も十一月二日(土)の文化祭で実施する予定です。

PTA活動は大変というイメージが強いですが、本校で役員をされた方からは、子どもの学校での様子を見られる貴重な機会となったとの声も多く寄せられています。これからも「できることを無理なく楽しむ」をモットーに、子ども達の夢の実現に向けてより良い形を模索しながら活動を継続していきたいと思っています。

第四発表

新潟商業高等学校のPTA活動

新潟商業高校校

PTA会長 渡邊 義男

新潟商業高校は明治一六年創立、一四一周年を迎える全国で三番目に古い商業高校です。近年、新校舎となり県内公立高校では一番新しい校舎となります。総合ビジネス科・情報処理科・国際教養科の三学科にて、国際的教養と産業経済人向け知識技能習得を担う学校です。

本校PTAは理事会を基に、進路専門委員会・生活専門委員会・広報専門委員会の三部門にて活動しています。進路専門委員会では毎年、卒業生の進路状況や体験報告を直接聞ける報告会、保護者に向けて進学就職双方の進路講演会を実施。学生の未来に備えた活動となります。また昨年度は、学校との共催行事・人権教育同和教育講演会(三条市出身・全盲シンガーソングライター)・ヤングケアラー普及啓発講座などを開催。広報専門委員会は、会報「不断自強」を発行。不断自強とは日頃から自ら努め励む意、校歌歌詞より引用した言葉です。生活専門委員会は「制服を美しく着る週間」を設定、玄関前での活動実施。また、葦原祭(文化祭)の学生意見を学校へフィードバックする等、学校と学生のフィッティングに力を入れています。これらは、学校生活充実のためのPTA活動となります。

全国高等学校PTA連合大会 茨城大会報告

新潟西高等学校PTA会長 小玉 美加



去る八月二十二日から二十三日の二日間、茨城県水戸市のアダストリアみとアリーナをメイン会場として第七十三回全国高等学校PTA連合大会茨城大会が、大会テーマ「歴史の町で変革を!!」新たな時代が目に入らぬか」と題して、開催されました。

大会第一日目は、五つの会場で分科会が行われました。第一分科会はアダストリアみとアリーナを会場に「教育の過去・現在・未来」故きを温ねて新しきを知る」をテーマに、第二分科会はザ・ヒロサワ・シテイ会館を会場に「保護者・教師・生徒が抱える問題と解決法」新たな一歩を踏み出すために」をテーマに、第三分科会は水戸市民会館を会場に「新・生きる力と家族の絆」子どもの心に風邪を引かせない」をテーマに、第四分科会はひたちなか市文化会館を会場に「みんなで考えよう、これからのPTA」あるべき新しい姿とは」をテーマに、第五分科会は小美玉市四季文化館の「これからのコミュニティ・スクール」地域社会との新たな連携・協働」をテーマに、それぞれ行われました。どの分科会も、今日的な課題について考えさせられるものであったと本県の参加者の方からお聞きしました。私が参加し

た第一分科会では、水戸藩の藩校である弘道館に渋沢栄一が来ており庶民のための教育について考えていたこと、現在でも「先見性」「実践性」「国家的視野」といった教育視点が生き生きしていることが印象的でした。また、もう一つの講演では、現在の教育システムができた経緯とこれから何が必要かということを考えさせられる内容でした。これらの内容を今後のPTA活動に生かしていこうと考えました。

大会二日目は、表彰と全体会記念講演が行われました。本県からの表彰は、私の所属する新潟県立新潟西高等学校が優良PTA文部科学大臣表彰をいただいたほか、PTA活動振興功労者表彰、全国大会会長表彰、役員等表彰が行われました。その後の全体会記念講演では、二所ノ関寛（第七十二代横綱・稀勢の里）氏を講師として、「人材育成の不易流行」という演題で講演をしていただきました。親方自らが大学院での研究や理論を実践し、新しい相撲部屋の経営を行っていることや部屋の弟子に対して、徹底的に対話をし、育てていることが「あたらしい教育」にもあてはまることだと思いました。また、現役時、白鳳園の連勝がかかっている勝負の前日に親方から掛けられた「勝つてもガッツポーズをするな。」というアドバイスは、既に「勝ち」を前提とした言葉であり、この言葉によって、勝負に「勝つ」というマインドを作り土俵に上がっていたエピソードが印象的でした。全体を通じて、あらためてPTAとしてこれから何ができるのか、するべきなのかを考えさせられた、非常に有意義な大会でした。このような貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

新潟県高等学校PTA連合会 役員及び職員

会長 古川 憲 (新潟中央)

副会長 永井 智則 (高田商業)

理事 小竹 秀一 (新潟中央)

監事 東條 正紀 (新潟中央)

幹事 北岸 信治 (柏崎)

小村 和史 (高田商業)

小堀さとし (三条東)

菅森 茂樹 (村上)

星 達哉 (新潟向陽)

岩崎 啓 (新潟向陽)

岩田 宏樹 (新潟向陽)

土田 貴子 (新潟西)

筒井 明子 (高田中等)

山口 孝 (新潟中央)

山田 大介 (柏崎)

早川 喜昭 (高田)

鈴木 勇二 (三条東)

森川 重樹 (村上)

森川 幸彦 (佐渡)

東條 俊浩 (新潟南)

加藤 國樹 (新潟井)

大島 博文 (新潟商業)

矢沢 良子 (新潟越前)

今井進太郎 (長岡)

井上 沙織 (新潟工業)

木下 和紀 (直江津中等)

橋本 敏郎 (高田)

皆川 能治 (三条東)

長谷川 雅一 (長岡)

伊東 崇 (村上)

川上 豪 (佐渡)

市野 正廣 (新潟南)

白根 淳子 (十日町)

保坂 哲 (高田北城)

植木 勲 (直江津中等)

勝山 宏子 (三条)

白藤 恵一 (小千谷西)

石黒 浩司 (新潟田)

小畑 智明 (新潟津)

小畑 智仁 (高田中等)

関矢 和彦 (新潟津)

宮島 智子 (三条商業)

椎谷 周平 (新潟中央)

土田 直久 (長岡)

倉又 康 (糸魚川)

伊丹 新 (長岡大手)

編集後記

※次号(第一〇七号)は、各校5部ずつ送付(予定)し、一般会員へはデジタル配信になりますので、PTA会員様のご理解ご協力をお願いいたします。

新潟県人は自県を卑下する傾向がある気がします。自分も昔はそうでした。今は仕事柄県外の方々と接する機会が多いのですが皆さん意外にも新潟を高評価していることが多いです。自分も県外出張から戻ってくると新潟県の方がいいなと思うことが増えました。ぜひ子供たちには新潟県が一番と思えるように伝えていきたいです。

(調査広報委員新潟P会長 神田)

令和6年度 地区PTA研修会の開催予定

	地区名	地区PTA幹事校	開催期日(曜日)	開催時刻	会場	当番校
1	新潟	新潟工業	11月20日(水)	14:30	新潟東映ホテル	新潟商業
2	巻	巻総合	11月28日(木)	14:00	巻ふれあい福祉センター	巻
3	新発田・村上	新発田	11月11日(月)	13:30	新発田カルチャーセンター	新発田南
4	新津	新津	11月8日(金)	14:30	新津地域交流センター	新津工業
5	長岡	長岡	11月27日(水)	15:00	アトリウム長岡	長岡農業
6	三条	三条東	11月22日(金)	14:00	三条ロイヤルホテル	三条商業
7	魚沼	小千谷	11月8日(金)	13:35	ほてる木の芽坂(南魚沼市)	八海
8	柏崎	柏崎	11月19日(火)	14:00	柏崎市立図書館ソフィアセンター	柏崎翔洋中等
9	高田・直江津	直江津中等	11月22日(金)	14:30	ホテルハイマート(直江津駅前)	海洋
10	佐渡	佐渡	11月8日(金)	14:00	国際佐渡観光ホテル 八幡館	佐渡総合